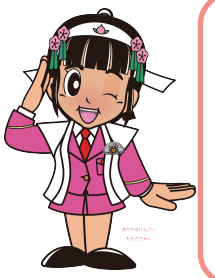
高齢者交通安全ニュース

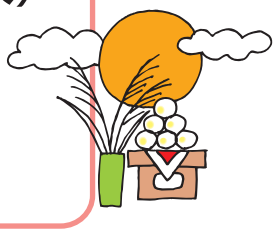
～ 守ろう高齢者　減らそう高齢者の交通事故 ～

平成 28 年 9 月号



高齢者の交通死亡事故発生状況（平成２８年８月末）

県内の死者	５０人（前年対比　－１人）
６５歳以上	３０人（前年対比　＋１人）
うち７５歳以上	２３人（前年対比　±０人）

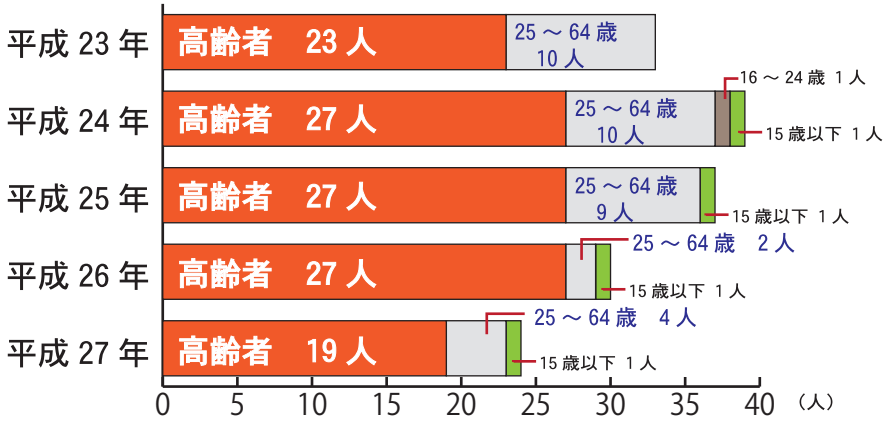


道路横断中は特に危険!!

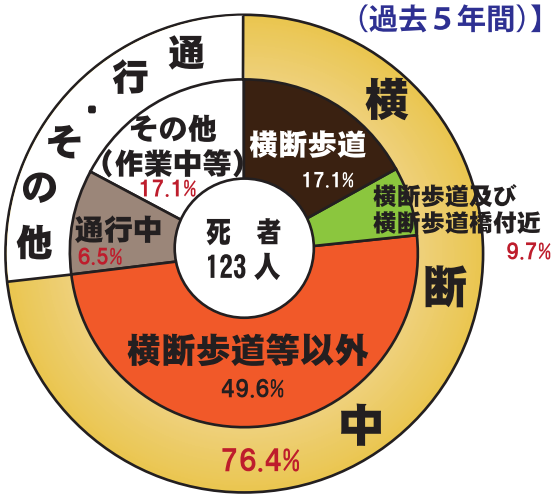
昨年９月中、歩行中の高齢者の方が車にはねられ亡くなられる交通事故が多発しました。今年も１５人もの高齢者の方が歩行中に被害に遭い亡くなられています。（平成２８年8月末現在）

下のグラフは、過去５年間、歩行中に交通事故で亡くなられた方を年齢層別・類型別にしたものです。歩行中被害の７割以上が高齢者の方で、特に道路を横断中は危険であることが分かります。

【年齢層別歩行中死者数の推移（過去５年間）】

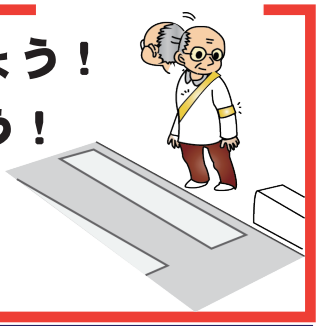


【高齢者による歩行中死者の事故類型割合（過去５年間）】



＜道路を横断する時の注意点！＞

- ○ 渡る前に必ず止まり、左右の安全をしっかり確認しましょう！
- ○ 車が来ていたら、遠くに見えていても通過を待ちましょう！
- ○ 近くに信号機や横断歩道があるときは、遠回りでも利用しましょう！



運転者からあなたは見えてないかも？

運転者にとって、対向車のライトが重なると前方が見えなくなる現象（蒸発現象）があることを知っていますか。たとえ自分にライトが向けられ、渡っている所が横断歩道であっても、運転者にはあなたが見えていないという現象です。

また、運転者が周囲に気をとられ、横断しているあなたを見落としている可能性もあります。必ず、車が近くにいないのを確認してから道路を横断しましょう。

岡山県警察